



# 図書日和

2020年2月号  
鹿児島中央高等学校図書館  
令和2年2月27日発行

暦の上では春です。冷え込むようなときもありますが、まわりの自然に目を向けると春を感じさせてくれることが多くなりました。3年生はもうすぐ卒業式を迎えます。1、2年生は、今年度もあと一ヶ月余りとなっています。それぞれ残りわずかな時間を、目の前の目標や将来の夢や希望がかなうよう充実させましょう。

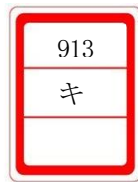
## 私が薦める一冊の本 理科 宝満 元 先生

### 『手紙屋 蛍雪編』 喜多川 泰 著 デイスクヴァー・トゥエンティワン

皆さんは手紙を書いたことがありますか？今はメール、LINE等ですぐに文章を相手に送れてしまいます。実際、僕自身も手紙はあまり書いたことはないのですが中学生の頃は手紙でいろいろとやりとりをしたのを覚えています。面と向かってだと恥ずかしいことやメールやLINEだとなんか軽い感じになってしまうことで手紙なら素直な気持ちを相手に伝えることが出来るし、一度文章に起こすことによって自分の気持ちの整理もすることが出来る。手紙は素敵なコミュニケーションツールだと思います。

この本は進路に悩む高校2年生の和花が兄の勧めで「手紙屋」と出会い、手紙のやり取りを始めます。「手紙屋」との手紙のやりとりを通して少しずつ勉強をする意味や目的に気付き、変わっていく様子を描いた作品です。皆さんの中にも当てはまる人がいるのではないのでしょうか？「勉強する意味が分からない」「将来の目標がない」「学校の勉強なんて出来なくても生きていける」そんな気持ちが少しでもあれば是非手にとって読んでみてください。「手紙屋」さんがきっと良いアドバイスをくれるはずですよ。

\* この図書は、図書館に所蔵  
しています。 <ラベル表示>



## 今年度の新着図書を全冊展示中！



図書館では、今年度の図書購入を終了しました。生徒の皆さんや先生方からの購入希望図書や今年度話題になった図書、読書や学習に役立ててほしい図書などたくさん入りました。この新着図書を分類毎にわかりやすく並べて展示しています。さまざまな図書に出会うきっかけとなり、ジャンルを拡げて読書を楽しむことができます。

### 3年間の多読者(100冊以上2名)

3年7組 大久保珠里 さん 143冊

3年2組 濱田怜奈 さん 126冊

これからも  
読書を楽しんで  
くださいね！！



### 図書委員会からの お知らせ

#### 図書展示「映像化作品」

これまでに映画・ドラマ・アニメ化された図書を2月13日(木)から展示しています。「これ見たよ〜」「泣けたよ〜」「映画も見たけど、ドラマも見たよ〜！」という声がたくさん聞こえてきます。映画・ドラマなどで見たものを本で楽しむのもよいのではないのでしょうか。

展示した図書には、図書委員会で作成したポップやしおりなどで本のあらすじやおすすめのフレーズを紹介していますので、楽しみながら本を選ぶことができます。すでに貸し出しされている本もありますが、まだまだたくさん展示されています。

### 今年度貸出回数が多かった本(2月21日現在)

『あさきゆめみし』	大和和紀 著	講談社
『下町ロケット』	池井戸潤 著	小学館
『高校入試』	湊かなえ 著	角川書店
『そして、バトンは渡された』	瀬尾まいこ 著	文藝春秋
『手紙屋 蛍雪編』	喜多川泰 著	デイスクヴァー・トゥエンティワン
『魔力の胎動』	東野圭吾 著	KADOKAWA
『教育学部』	三井綾子 著	ペリカン社
『受験脳』	池谷裕二 著	新潮社
『大学教授だから知っている大学入試のトリセツ』	田中研之輔 著	筑摩書房

# 1月貸出統計

合計 384冊

学年	1年								2年								3年							
	組	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
貸出数	16	17	25	12	24	11	17	12	0	11	0	5	7	9	6	0	1	6	43	0	6	83	44	29
合計	134								38								212							

## わたしの図書館活用法 ～3年生から後輩のみなさんへ～



### 3年3組 古川千詠さん

私は、3年生になってからは主に小論文と面接対策のために図書館を利用しました。図書館には小論文のネタ本やコツをつかむ本だけでなく、過去問がまとめられた本、分野別の白書や統計資料、新聞の切り抜き、新書など自分の受験に必要な知識を得られる手段が多くそろっていました。いろいろな角度から情報収集を行うことができ、実際の試験や面接でも図書館で得た情報を生かすことができる場面が多くありました。志望校に合格できたときには、昼休みや放課後に通ってさまざまな資料や本に目を通しておいてよかったと心から思うことができました。また、私は小論文や面接対策以外にも3年間図書館の読書スペースを活用してもらいました。ここでは本を読むだけでなく、自習もできるため、昼休みに行き勉強をしていました。静かで快適な環境が整っていますが、勉強のためには多くの人が利用しておらず、昼休みはとくにおすすめの隠れスポットでした。私の志望校合格は図書館利用のおかげと言っても過言ではありません。高校時代の図書館学習はおすすめです。頑張ってください、応援しています。



### 3年7組 大久保珠里さん

「読書は時間の浪費だ」と言う人がいますが、8割正解だと私は思います。55期生で最も本を借りた私が言うのは可笑しい事だと思われるでしょう。ではどうしてそう思うかという、大半は頭に残らないからです。概略くらいは覚えています、細かいフレーズはほとんど覚えていません。でも、私は本を読み続けます。なぜなら、10冊に1.2冊は魂の鐘を打ち鳴らす衝撃の本に巡り会うからです。その本から学ぶことは、時に人生観さえ変えるものがあります。これが読書の本質だと思っています。私がこの3年間で出会えたそういった本は20冊程です。これらのために「時間の浪費=読書」をしているようなものです。私は図書委員としての2年間でポップ作成やブックトークなどを通じて中央生が1冊でもそういう本に出会えるよう活動をしてきました。中央高校図書館には、よい本が多く所蔵されています。きっとあなたの一冊があるでしょう。青春を謳歌するあなたと本のよい出会いがあることを願います。



## 読書の大切さや楽しさを伝える言葉



「読書というものは、それ自身目的ではなくて、目的のための手段である。」(アドルフ・ヒトラー)

アドルフ・ヒトラー 著 『わが闘争』より

「君たち、漫画から漫画の勉強をするのはやめなさい。一流の映画をみろ、一流の音楽を聞け、一流の芝居を見ろ、一流の本を読め。そして、それから自分の世界を作れ。」(手塚治虫)

山口孝 著 『赤塚不二夫伝 天才バカボンと三人の母』より

「知識・見聞を広げるためには、他人の意見を聞き、自分の考えを深め、書物も読まなければならない。」(福沢諭吉)

福沢諭吉 著 『学問のすすめ』より



宝満先生のお薦めの図書 喜多川泰著『手紙屋 蛍雪編』は、カウンターに他の喜多川泰の作品とともに展示していますので、読んでみましょう。

中央高校図書館を一人一人の目的を持って利用している3年生の皆さんの様子が思い出されます。今後も身近な図書館を利用しながら心豊かに過ごしてほしいと思います。3年生の貸出は、終了しましたが、明日以降入試などに必要な図書の貸出を希望する人は、特別貸出を行っていますので利用してください。

1. 2年生の皆さんは、今後も引き続き図書館を利用できます。今年度は読書できなかったなあと思ったら、読書するのは考査も終わった今ではないでしょうか。